



●PROFILE 齋藤竜太(さいとうりゅうた)  
1992年産業医科大学卒。産業医科大学産婦人科助手、九州労災病院産婦人科部長、周産期センター副センター長などを経て、地域のお産事情改善を目指す九州バースセンターを2010年1月に立ち上げる。



分娩棟は緊張をほぐす癒しと安らぎの古民家風



先進の設備を整えた採卵室兼手術室。

齋藤シーサイドレディースクリニック  
北九州 不妊・不育センター  
<http://saitoivf.com/>

診察時間◆朝9時～12時(月火水木金\*隔週土)／昼1時～6時(月火水木金\*火木は4時まで\*土は2時～)／夜7時～9時(火木) 休診日◆日曜・祝日 標準料金◆体外受精(自費診療)採卵124000円(卵が採れなかった場合73000円)ほか成功報酬制。税別。詳細はHPを参照。  
所在地◆福岡県遠賀郡芦屋町山鹿 852-57 アクセス◆鹿児島本線折尾駅下車...『折尾駅』発着のクリニックまでの無料送迎あり(要予約)。  
電話◆093-701-8880

一般社団法人日本バースセンター協会  
九州バースセンター うばがふところ  
<http://www.kyusyu-bc.com/>  
電話◆093-701-8103(はい、お産)

\*詳細はHPをご参照ください。

齋藤シーサイド  検索

\*1992年4月～2016年6月までの合計。産婦人科手術4950件、緊急帝王切開1580件。

**注目の名医③**  
●スペシャルインタビュー  
*Special Interview*

**'16医療ルネサンス**  
九州バースセンター 齋藤シーサイド・レディースクリニック

**福岡県芦屋町●不妊・不育治療の病院と産院が融合した新しいタイプの分娩施設を創設**  
**帝王切開でも翌日には普通に歩いて神の手との評判も高く**  
**不妊治療も先進の設備とオーダーメイド治療で高い妊娠率**

一般社団法人日本バースセンター協会  
九州バースセンター うばがふところ  
齋藤シーサイド・レディースクリニック

理事長 齋藤 竜太 医師  
院長

遠賀川の河口近く、響灘を望む高台にある新しいタイプの分娩施設『九州バースセンター うばがふところ』。そこを牽引するのが齋藤竜太医師だ。助産師と手を組み「自然と安全の両立」を目指しオープンして7年。「家庭的な雰囲気でも赤ちゃんを産みたいけど何かあった時には高度医療に頼りたい」という妊婦に支えられ、大きな信頼を得てきた。その敷地に隣接して今年の一月に移転オープンしたのが、不妊・不育治療の『齋藤シーサイド・レディースクリニック』。これにより、不妊・不育・出産・産後までをトータルでサポートできる体制が整い、理想の妊娠・出産を望む女性の強い味方となっている。

ーの特徴は、ロースクはバースセンターで自然分娩を行い、ハイリスクは病院で管理して分娩あるいは帝王切開を行うという分娩の振り分けを行い連携するシステムに

ある。その功績は、他施設の模範になるとの福岡県知事からの表彰や、教育財団・銀行などからの表彰が物語る。23年間で5千件(\*近くの産婦人科手術を経験している齋藤医師。がん以外の手術はどれも傷が小さく全く目立たない。特に帝王切開手術はビキニを着ても傷が見えず、痛みもあまりなく、4日で退院できる。「まさに神の手」とは患者の言葉だ。また1500件以上の緊急帝王切開を経験し、緊急になる患者のリスクを熟知している

クリニクは、「救えきれない程のハイリスクの妊婦を見てきたことで、妊娠前から体づくりの重要性を実感しました。これは不妊症患者も同じです」と、運動・酸素カプセル・スパーライザーを本格的に治療に組み込んだバランスのとれた不妊治療施設となっており、その分野では先進の体外受精設備とオーダーメイド治療で高い妊娠率を誇る。不妊治療のゴールは妊娠ではなく無事な分娩との考えで、不妊治療と妊娠分娩管理を産後サポートまでをトータルでできる体制を整え、患者の一人一人と向き合い最善の治療を検討 提案し、分娩を視野に入れた不妊治療に取り組んでいる。

